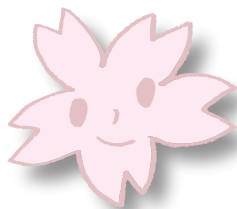


診療連携手帳パス

ver 2

大腸





高知医療センター の基本理念

「医療の主人公は患者さん」

(平成 20 年 4 月 1 日改訂)

1. 患者さんが主人公の病院にします

お一人おひとりの人間性を尊重させていただくようにつとめます
十分な説明で納得していただき、診療には患者さんにも参加していただくようにします
患者さんを「待たせない」、物を「持たせない」、「わかりやすい」病院にします

2. 高度な医療を普段着感覚で提供します

高度な医療機器を備えて高度医学を提供します
いつでも、どなたでも、どのようなことでも、気易く診療させていただくようにします
高度な救命救急センター機能を備え、24 時間 365 日受け入れられる体制とします
一日も早い日常生活への復帰に協力します
日帰り手術・日帰り検査などを積極的に行います
緩和ケアを基本とし、すべての患者さんの心と体の痛みを和らげることにつとめます

3. 自治体病院としての使命を果たします

高知県立中央病院と高知市立市民病院の使命を引き継ぎます
モラルと向上心を持った模範となる病院になるようにつとめます
医療や保健・福祉の向上のため、県下の病院や診療所、関係機関と連携します
大地震などの災害時にも、医療機能が発揮できる病院にします
医療職員、学生などの教育・研修・研究に力をいれ、今後の医療・保健・福祉の
人材を育てます



連携手帳（パス）とは

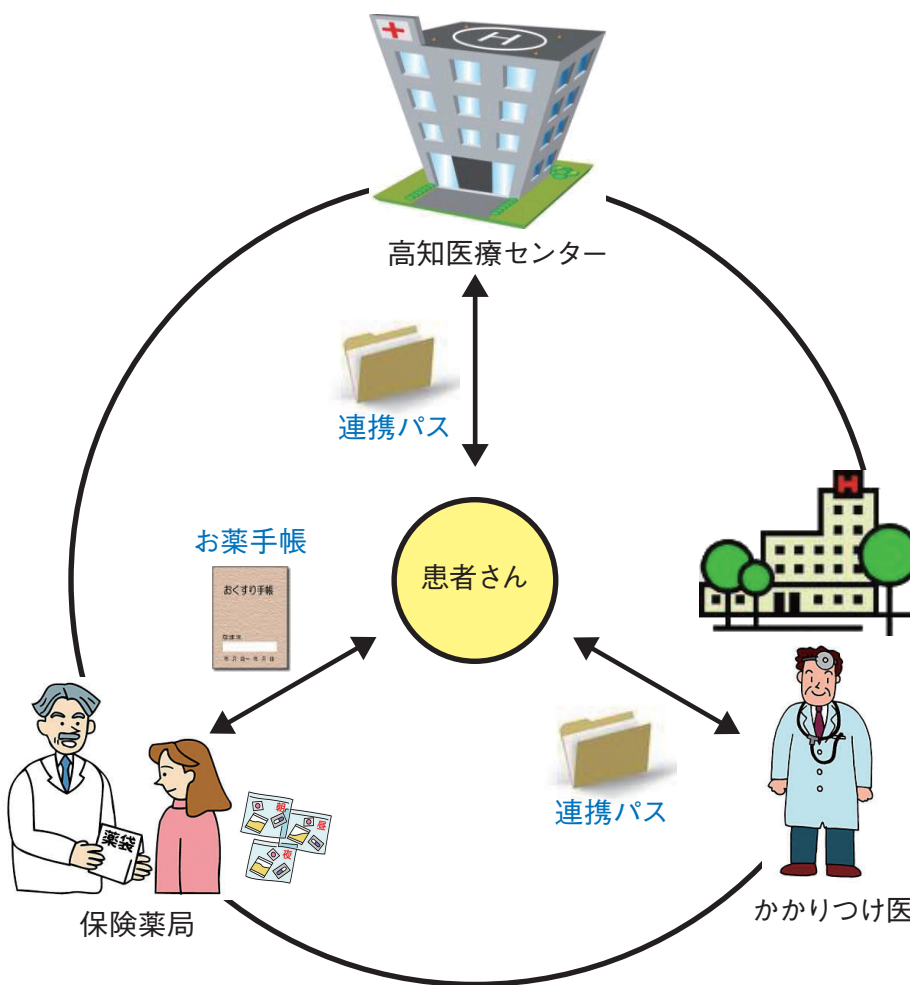
この手帳は、高知医療センターとかかりつけ医療機関（連携医療機関）が協力し、専門的な医療と総合的な診療をバランスよく提供する共同診療体制を構築することを目的に作成されました。内容は、①共同診療に必要な診療情報、②5年間の診療予定表、③5年分の診療記録、④病気に関する説明、の4つに分かれています。

この連携手帳を使用することで、患者さんは今後の診療予定を知ることが出来ますし、診療情報が共有されますので安心してこれまで通りかかりつけ医の診療を受けることも出来ます。通院時間や待ち時間が短縮し通院の負担が軽減します。また、他の医療機関を受診する場合でも、お薬手帳と一緒に連携手帳を持参すれば、治療内容が正確に伝わり診療に役立ちます。（右ページの図参照）

病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、高知医療センターへは節目に受診していただきます（予定表をご覧下さい）。何か心配なことがある時には、まずかかりつけ医にご相談下さい。適宜必要に応じて高知医療センターを受診していただきます。また、緊急を要する場合で休日や夜間等がかかりつけ医を受診できない場合は、高知医療センター（電話番号は3ページにあります。）までご連絡下さい。

なお、大腸がん以外のがん（肺がん、肝がん、胃がん、乳がん、婦人科がん、前立腺がんなど）は検査の対象外となります。かかりつけ医に相談するか、地域の健康診断などをお受け下さい。

連携手帳（パス）を用いた診療の流れ



連携手帳とお薬手帳を持っていれば安心です

9 ヶ月後 年 月 日		1 年後 年 月 日		1 年 3 ヶ月後 年 月 日		1 年 6 ヶ月後 年 月 日	
\		検査結果 <input type="checkbox"/> (ng/ml)		\		検査結果 <input type="checkbox"/> (ng/ml)	
		----- <input type="checkbox"/> (u/ml)				----- <input type="checkbox"/> (u/ml)	
		<input type="checkbox"/> 再発なし				<input type="checkbox"/> 再発なし	
		----- <input type="checkbox"/> 再発あり				----- <input type="checkbox"/> 再発あり	
検査結果 <input type="checkbox"/> (ng/ml)		\		検査結果 <input type="checkbox"/> (ng/ml)		\	
----- <input type="checkbox"/> (u/ml)				----- <input type="checkbox"/> (u/ml)			
\		<input type="checkbox"/> 内視鏡 所見					
		再発・副作用発生の場合、医療センターに連絡					
患者さんの食事、体重、便通等具体的な症状があれば記入							
臨床 症 状							

2年6ヵ月後 年 月 日		2年9ヵ月後 年 月 日		3年後 年 月 日		3年3ヵ月後 年 月 日			
検査結果									
<input type="checkbox"/> (ng/ml) ----- <input type="checkbox"/> (u/ml)		\		<input type="checkbox"/> (ng/ml) ----- <input type="checkbox"/> (u/ml)		\			
<input type="checkbox"/> 再発なし ----- <input type="checkbox"/> 再発あり				<input type="checkbox"/> 再発なし ----- <input type="checkbox"/> 再発あり					
/				検査結果 <input type="checkbox"/> (ng/ml) ----- <input type="checkbox"/> (u/ml)				/	
				検査結果 <input type="checkbox"/> (ng/ml) ----- <input type="checkbox"/> (u/ml)					
<input type="checkbox"/> 内視鏡 所見									
再発・副作用発生の場合、医療センターに連絡									
患者さんの食事、体重、便通等具体的な症状があれば記入									
臨床 症 状									

4年3ヵ月後 年 月 日		4年6ヵ月 年 月 日		4年9ヵ月後 年 月 日		5年後 年 月 日		
/		検査結果 <input type="checkbox"/> (ng/ml)	/		検査結果 <input type="checkbox"/> (ng/ml)	/		
		<input type="checkbox"/> (u/ml)			<input type="checkbox"/> (u/ml)			
		<input type="checkbox"/> 再発なし			<input type="checkbox"/> 再発なし			
		<input type="checkbox"/> 再発あり			<input type="checkbox"/> 再発あり			
検査結果 <input type="checkbox"/> (ng/ml)		/		検査結果 <input type="checkbox"/> (ng/ml)		/		
<input type="checkbox"/> (u/ml)				<input type="checkbox"/> (u/ml)				
<input type="checkbox"/> 内視鏡 所見								
再発・副作用発生の場合、医療センターに連絡								
患者さんの食事、体重、便通等具体的な症状があれば記入								
臨床 症 状								

大腸がんの手術を受けられた方へ

大腸がんの手術を受けられた方は、通常手術後5年間、定期検査を受けていただく必要があります。

5ページから10ページに「大腸がん連携パス」として、病期ごとに定期検査の予定をまとめました。

手術後はかかりつけ医と高知医療センターの両方で診察を受けていただき、定期的に検査を行い、体調の変化や再発の有無のチェックをしていただきます。

かかりつけ医での定期検査と高知医療センターでの定期検査を3ヶ月毎に交互に受けさせていただきます。

入院治療が必要なときや再発が疑われる場合は、かかりつけ医の指示で高知医療センターを受診していただくことになります。検査の日程などはかかりつけ医にご相談ください。体調などでお困りのときにも、まずかかりつけ医にご相談ください。

なお、大腸がん以外のがん（肺がん、肝がん、胃がん、乳がん、婦人科がん、前立腺がんなど）は検査の対象外となります。かかりつけ医に相談するか、地域の健康診断などを自身で必ず受けてください。

術後の注意点について①

1) 食事について

① 入院中はお粥を食べていたと思いますが、退院後にご飯に戻していただいてもかまいません。ご飯に戻した場合は、よく噛んで食べることを心がけてください。

また、麺類はそばよりうどんのほうが消化に良いと言われておりますので、そばはしばらくの間は控えたほうが良いでしょう。

② 基本的に食事内容には制限はありませんが、偏った食事や暴飲・暴食・早食いは避け、野菜を中心としたバランスの取れた食事を、ゆっくり食べるように心がけましょう。

③ 繊維の多い食品は、消化が悪く腸閉塞を起こしやすいので、手術直後は控えたほうが良いでしょう。2～3ヶ月後からは食べていただいても構いません。

《例》 ごぼう、きのこ類、こんにゃく、海藻類、セロリ
たけのこ、はす、つけもの、れんこんなど

術後の注意点について②

2) 手術後に起こりやすい症状について

① 食べ過ぎによる症状

「早食い・ドカ食い」などの状態では1回の食事量が多いため、消化・吸収が間に合わずに、腹痛・膨満感・吐き気などの症状がでることがあります。毎食ほぼ同程度の量をゆっくり食べましょう。食べ過ぎに注意してください。

② 排便の異常

大腸の手術をした部位により症状が異なりますが、「便秘」や便が1日に何回も少しずつ出る「頻便」や「下痢」が起こることがあります。

特に肛門近くの手術をされた方は「頻便」となる傾向があり、1日に10回以上になることもあります。また、2～3日おきに排便があるが、排便が始まると何回もトイレに行ってしまうこともよくあることです。手術の影響であり時間がかかりますが、徐々に排便回数は減ってきます。

「下痢」は大腸での水分の吸収力の低下が主な原因です。また、抗がん剤を使用されているときも下痢をしやすくなります。時間とともに落ち着いてきますが、1日に10回以上の下痢が続く場合は脱水になることがあります。早急に医師に相談してください。

また、腸の蠕動運動が低下していることによる「便秘」は腸閉塞を引き起こす可能性があり好ましい状態ではありません。

水分を多くとり、体を動かすことを心がけてください。3～4日でない場合は下剤を飲む必要があります。かかりつけの医師に相談しましょう。

術後の注意点について③

3) 内服薬について

薬は飲み忘れず、時間を守って飲むようにしましょう。

下痢は、排便状況をみて調節してください。

4) 日常生活について

① 運動について

体力回復や筋力低下の防止には適度な運動が必要です。今からはじめる…というのは難しいと思いますので、散歩を日課に取り入れ、生活リズムを手術前のように戻し規則正しい生活を送るようにしていきましょう。

また、趣味で行っているスポーツは医師に確認し続けていきましょう。

② 睡眠と休息について

睡眠は十分にとり、疲労を翌日に持ち越さないようにしましょう。体に無理なことはかえってストレスになるため、休みながら行動するようにしましょう。

③ 入浴について

入浴しても大丈夫です。おなかのキズは平気？と心配されると思いますが、キズはしっかりついていきますので水は入りません。また、キズが清潔に保たれているほうが望ましいので、きれいに洗うようにしましょう。

術後の注意点について④

④ 旅行について

退院後は、1ヶ月すれば無理がない程度ならよいでしょう。必ず医師に相談してください。

⑤ 退院後お仕事について

お仕事を再開する時期については個人差がありますので、医師に相談してください。手術後の日常生活での回復状況と仕事量を考慮して判断することが重要です。

⑥ 嗜好品（タバコ、お酒）について

タバコはお腹の血液の流れを悪くし、お腹の運動を抑えますので、手術後も禁煙を続けるようにしましょう。飲酒については医師に相談してください。

⑦ 定期受診について

退院後は、自分の体の状態を知るためにも受診をしましょう。また、定期検査の結果から、無症状の状態でも再発や他の異常を発見することもあります。万が一再発しても早期発見が重要です。決められた検査の予定は必ず行うように心がけてください。何か心配なことがありましたら、外来日に医師や看護師にお尋ねください。

術後の注意点について⑤

5) 腸閉塞について

腹部の手術後、腸と腹壁、腸どうしの癒着が起こります。この癒着の部分を中心に腸が折れ曲がったり、ねじれたり、癒着部分ではほかの腸を圧迫したりして腸が詰まった状態を腸閉塞といいます。

症状としては、おなかの張り（膨満感）、腹痛、吐き気・嘔吐などが起こります。おならも便も全く出ないことが最初の兆候です。腹痛の特徴としては、時々差し込むような痛みと腹痛を感じないときが10分程度の間で周期的に何回もくるのが特徴です。特に痛みが強いときは、我慢せずかかりつけ医の先生に連絡を取り、指示を仰いでください。

症状が弱い場合には水分のみ摂取し、1、2食の絶食で改善することもあります。症状が強い場合・持続する場合にはかかりつけ医を受診・指示に従ってください。

6) 緊急時の連絡について

通常の診療時間内は、まずかかりつけ医にご連絡ください。

1 治療切除後のフォローアップについて

大腸癌研究会・プロジェクト研究による再発の特徴を下記に記載いたします。

1) 再発時期と再発部位

- ① 再発は術後3年以内に約80%以上、術後5年以内に95%以上が出現した。
- ② 術後5年を超えての再発は全症例の1%以下であった。
- ③ 肺再発のうち5%は術後5年を超えて出現した。
- ④ 吻合部再発の95%以上は3年以内に出現した。

2) ステージ別特徴

① Stage 0

切除断端が陰性であれば、再発は認めなかった。

② Stage I

sm がんの再発率は結腸癌・直腸癌とも約1%であった。

mp がんでは再発率は6.4%で、結腸癌で5%、直腸癌で8.3%であった。

術後3年以内に再発の2/3が出現し、5年を超えての再発は全症例の0.2%以下であった。

③ Stage II、Stage III

Stageが進むにしたがって再発率が増加した。術後3年以内に再発の78%～90%が出現し、5年を超えての再発は全症例の1%以下であった。

3) 術後補助化学療法

術後再発抑制・生存率の向上を目的として手術後に補助化学療法を Stage Ⅲおよび一部の Stage Ⅱ大腸癌に行っています。

一般的には抗癌剤治療を6ヶ月間行っていただいております。

大腸がん術後患者への指導について

● 排便異常について

術後、便秘、下痢・軟便が見られることがあります。特に直腸がん手術後には直腸の貯留機能の低下から長期にわたり、軟便・下痢が認められることがあります。

症状にあわせて止瀉剤・下剤等の処方をお願いいたします。

● 救急対応について

大腸がん術後の外来経過観察中に緊急の対応が必要になるのは主にイレウス症状です。

軽度の腹痛・吐き気などが認められる場合には水分摂取のみとし、1-2回の絶食で経過をみていただいております。

症状の改善がみられない場合、症状が強い場合はすぐに診察を受けるように指導しております。診察・各種検査でイレウスが確定した場合には入院の上、治療を開始します。

— MEMO —

A series of horizontal dashed lines for writing.

— MEMO —

A series of horizontal dashed lines for writing.

— MEMO —

A series of horizontal dashed lines for writing.

この手帳の使い方について

- 1) 高知医療センターの主治医ならびに担当の医師は、患者さんにお渡しする前に4ページの記載をお願いします。
- 2) かかりつけ医あるいは医療センターの医師は、5ページ以降に検査結果、診察所見などを記入して下さい。
- 3) 癌治療連携指導科の算定に必要な書類提出について
かかりつけ医においては、3ページ・4ページ、及び5ページから10ページの写し、または診療情報提供書を送付いただくことにより癌治療連携指導科の加算を受けることができます。

※ 記載は簡単で結構です。(問題あり・なし程度)

※ 問題があり、書き切れない場合や、かかりつけ医(連携医療機関)と高知医療センターで伝達が必要な場合は、【臨床症状】欄にその内容を記載するか、診療情報提供書の発行をお願いします。

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
がんセンター がん地域連携パス運用委員会



高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
〒781-8555 高知県高知市池2125番地1
TEL:088(837)3000(代)